

Candida albicans に対する鶏卵抗体の高齢者における口腔カンジダ症への有効性

○柳澤達雄¹⁾, 青木一之¹⁾, 磯田理絵²⁾

¹⁾(社) 東京都豊島区歯科医師会, ²⁾株式会社ゲン・コーポレーション

(索引用語: *Candida albicans*, 口腔カンジダ症, 鶏卵抗体)

口腔衛生会誌 58 (4), 2008

Candida albicans は健常人に対しては病原性が低い日和見感染菌であるが、高齢者やドライマウス患者においては口腔内の衛生状態を悪化させ、病原性を持ち口腔カンジダ症を発症させる。投薬による治療が可能であるが、薬剤耐性菌の出現により新たな予防対策や処置方法の開発が強く望まれる。そこで我々は、*Candida albicans* に対する鶏卵抗体 (anti-CA IgY) を作成し、その *in vitro* 及びマウスを使用した *in vivo* における効果を既に報告している。今回は、anti-CA IgY による高齢者の口腔内 *Candida albicans* 菌数の減少効果について報告する。鶏に *Candida albicans* を免疫して得られた卵の卵黄をスプレードライにより粉末化し、さらに脱脂工程を得て anti-CA IgY とした。試験食品として、この anti-CA IgY を打錠加工し、50 mg の anti-CA IgY を含有するタブレットを作成し被験食品とした。一方、非免疫卵から同様に作成したコントロール IgY (ContIgY) を 50 mg 含有するタブレットを対照食品とした。60 歳以上のボランティアに 2 週間隔で 2 回のスクリーニングを実施し、2 回ともに舌スワブから検出された *Candida albicans* が 300 CFU 以上であったボランティアを試験食品摂取対象者とした。試験食品対象者は、被験食

品である anti-CA IgY 含有タブレットを摂取する試験群と、対象食品を摂取する対照群に、二重盲検法にて割付を行った。それぞれの試験食品について、300 mg (1 回 2 粒, 1 日 3 回毎食後) の anti-CA IgY, もしくは Cont IgY を 4 週間摂取することとした。評価項目として、試験食品摂取開始から 2 週後・4 週後、及び事後観察のため試験食品摂取終了後 2 週後に被験者の舌スワブと唾液を採取し、*Candida albicans* 菌数、*Candida sp* 菌数、総真菌数、総菌数を検出した。結果、anti-CA IgY 含有タブレットを摂取した試験群において、*Candida albicans* 菌数及び *Candida sp* 菌数が減少した。また試験群における被験者の中には、*Candida albicans* 菌数や *Candida sp* 菌数だけでなく総真菌数や総菌数の減少も認められ、口腔内の衛生状態が改善した。一方、本試験における試験食品摂取期間中および事後観察期間である摂取終了後 2 週に、副作用的症状は何ら観察されなかった。これらのことから、anti-CA IgY は高齢者やドライマウス患者の口腔カンジダ症に対する有用で安全な予防免疫療法や抗真菌剤としての利用が期待出来る。